

## マツダ株式会社

### 菖蒲田清孝代表取締役会長来訪！



▲菖蒲田会長と生徒会・農業クラブの生徒

剣淵高校生とSDGsをテーマに意見交換を行いました

8月11日、剣淵高校でマツダ株式会社の菖蒲田会長と生徒の意見交換が行われました。

はじめに、剣淵高校の学校紹介やSDGsへの取組について、生徒会長の小泉天花さんが説明しました。その後、谷本康成総務部長からマツダ株式会社のカーボンニュートラルへの取組について説明がありました。

質疑の時間では生徒から次々と質問があり、組織のトップに求められる素質や必要なことを問われた際には「言われたことだけをやるのではなく、課題を考えながらやること。個性や特徴は組織には必要なことで、一人ひとりのメンバーを信じること」と答えるなど、次世代を担う全校生徒と菖蒲田会長との熱心な意見交換はあつと言う間に時間が過ぎました。

「剣淵町の皆さまへ伝えたいこと」と題した講演会が開催されました

同日、剣淵町民センターで菖蒲田会長による講演会が午後6時から開催されました。

定員は100名でしたが、講演会を待望していた約150名が次々と来場し、会場いっぱいのもので熱気に包まれました。

この講演会は、町民有志で昭和63年に設立した「剣淵・マツダとふれあう会」と剣淵町が主催となり企画したもので、菖蒲田会長に依頼を快諾いただき実現したものです。

菖蒲田会長は自身の社員時代の海外での経験や失敗、大規模な人員削減時の苦しい経験の中から見つけた新たな志など、時には会場の笑いを誘いながら90分間にわたり熱心な講

演をされました。

また、剣淵町への感謝の気持ちと同時に「機械中心ではなく人が中心。安心安全な車づくりを進めていく」というマツダの目指す方向性を改めて示されました。

来場者からは「車づくりへの情熱とプライドを強く感じる事ができた」「どのような逆境にあっても挑戦し続ける姿に大変感動した」といった声が上がりました。

最後に、菖蒲田会長は「マツダが剣淵に貢献できることを一緒に考えていきたい」と連携協力についても力強く語られました。



▲満員御礼の会場